川岸学園整備室

令和6年6月　編集・発行
岡谷市教育委員会
川岸学園整備室

川岸学園NEWS

過去のNEWSは
こちらで読めます▼

～異年齢の子ども達がつながる新たな環境づくりをめざして～

第2号

＜岡谷市議会＞「川岸学園」への理解を深める勉強会を開催！！

5月31日(金)に岡谷市議会からの要望を受け、川岸学園構想で掲げる「**義務教育学校**」と「**幼保連携型認定こども園**」の制度や内容等に対する勉強会がありました。

また、認定こども園の2階建ての園舎を予定していることから、市内で2階建ての園舎である「**あやめ保育園**」と幼保連携型認定こども園を運営する「**信学会 東堀こども園**」を市議会議員の皆さんに視察していただきました。

９年間を通して小中一貫教育を行う「義務教育学校」とは

学校教育の多様化や弾力化を推進するため、平成28年度4月に学校教育法が改正され、小中一貫教育を行う9年間を通した教育を行う「**義務教育学校**」が創設されました。主な特徴としては、以下のとおりです。

◆一人の校長の下で一つの教職員組織が置かれ、校長のほかに副校長と教頭が配置されます。
◆修業年限は9年間で、前期課程6年(小学校相当)と後期課程3年(中学校相当)に区分され、小中学校の学習指導要領に基づいた授業が行われます。
◆1つの学校という特徴を活かして、学年の柔軟な設定が可能となり、小中学校と同じ6-3年のほか、4-3-2年や5-4年など、自由な学年段階の区切りが可能となります。

【小中一貫教育の枠組み】

小中連携教育

【定義】小中学校段階の教員が互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目指す様々な教育

小中一貫教育

【定義】小中連携教育のうち、小中学校段階の教員が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

義務教育学校

一人の校長の下、一つの教職員組織が置かれ、9年間の学校目標を設定し、9年間の教育課程を編成・実施する学校

小中一貫型小学校・中学校

組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態で、小中学校それぞれに校長、教職員組織を有する学校

併設型小学校・中学校
同一の設置者によるもの

※一貫教育にふさわしい運営体制の整備が要件
●総合調整を行う校長を定める
●学校運営協議会の合同設置
●校長等を併任

連携型小学校・中学校
異なる設置者によるもの
(県立と市町村立等)

※運営体制の整備は、併設型小学校・中学校を参考とする。

いずれの学校も施設の形態(一体型・隣接型・分離型)は問わない。

小中一貫教育の大きな定義に、円滑な接続をめざす「小中連携教育」があり、「**小中一貫教育**」は、小中連携教育の中に含まれます。

保育園と幼稚園のハイブリッド施設「幼保連携型認定こども園」とは

近年の社会構造や就業形態などの変化を背景に、就学前の子どもに関する教育・保育のニーズが多様化してきたため、従来の枠組みを超えた柔軟な対応が必要となり、保育園と幼稚園の役割を果たすことができる「**認定こども園**」が創設されました。

保育園

○保育が必要な児童を保育することを目的とする児童福祉施設
○就学前の保育が必要な子ども（0歳～）
○保護者の就労等条件あり。

認定こども園

○保育園と幼稚園の機能を併せもち、就学前の子どもに総合的な保育・教育を提供。
○0歳の子どもから利用できる。
○保護者の就労に関係なく利用できる。
○保育認定と教育認定の子どもが同じ部屋で一体的に教育・保育を受ける。

幼稚園

○小学校、中学校等と同じ学校教育法に基づく学校（幼児教育施設）
○就学前の子ども（3歳～）
○保護者の就労条件等なし

勉強会では、市議会議員の皆さんからこんな意見（質問）をいただきました。（一部抜粋）

Q.義務教育学校は校長1名のほか、副校長2名、教頭1名という配置で決まっているのか。
→副校長2名、教頭1名や、副校長1名、教頭1名、教諭1名など、柔軟に配置できます。

Q.義務教育学校への移行で教職員の負担は増えるのか。
→運営が安定するまでの過渡期は負担が増えることが想定されますが、義務教育学校だから先生の負担が多くなるというものではありません。

Q.学年区切りは6-3や4-3-2以外にも設定できるのか。
→4-3-2のほかに、5-4や4-5など、学校の実情に応じて、柔軟に設定できます。

Q.義務教育学校のメリットは何か。
→一人の校長先生の下で、一つの教育方針で学校運営がなされるのが、義務教育学校の最大のメリットだと考えています。

Q.遠距離通園となるが、通園バスを出すつもりがあるか。
→保護者の自家用車の送迎が多いと考えていますが、4園統合となり、各家庭の事情も踏まえて、対応を考えてまいります。

Q.義務教育学校の教諭は小中学校の免許状の併有が必要とあるが、小中の免許状を併有している先生は結構いるのか。
→学校の先生方の内、半分程度が小中学校の免許状を併有している状況であります。

「あやめ保育園」と「東堀こども園」を見学

勉強会終了後に「**あやめ保育園**」と「**東堀こども園**」の2園を見学しました。幼保連携型認定こども園の「**東堀こども園**」では、保育園とほぼ同じ諸室を設けており、一つのクラスの中で、保育園と幼稚園の子ども達が同じ部屋で一緒に遊んでいる姿が見られ、認定こども園のイメージが出来たのではないでしょうか。

施設見学当日は、子どもたちが笑顔で迎えてくれました。子どもたちが伸び伸びと遊ぶ姿を見ながら、川岸地区にも子どもたちが自然の中で思う存分、笑顔いっぱいで遊べるような地域の誇りとなる認定こども園の整備を進めていきたいと思います！！

あやめ保育園

東堀こども園